

# 世界史

(問題)

2011年度

〈2011 H23053423〉

## 注意事項

1. 問題冊子および記述解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答は全て解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. 受験番号および氏名は、試験開始後、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。記述解答用紙の所定欄(2か所)には受験番号と氏名を、マーク解答用紙の所定欄には氏名のみを記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

5. マーク欄は、はっきり記入すること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないよう、よく消すこと(砂消しゴムは使用しないこと)。

マークする時	● 良い	● 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	● 悪い	○ 悪い

6. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

「世界史の中の学問・教育」に関する以下の文章を読み、〔I〕～〔Ⅷ〕の設問に答えなさい。

〔I〕 次の文章を読み、設問1～5に答えなさい。

古代オリエント世界では、国家の成立とほぼ同じ時期から、文字の使用が盛んとなっていった。そのため、社会のさまざまな分野において、数多くの文字資料が残されている。文字を読み書きできたのは、特別な教育を受けた限られた少数の人たちだけであった。

古代社会が終焉を迎え、長い年月が経過するうちに、いつしか古代の文字体系は忘れ去られ、誰にも読めないものとなってしまった。1799年の夏、ナポレオンのエジプト遠征軍により、ナイル川の西の支流が地中海へと注ぐ河口付近で発見された **A** は、古代エジプト文字の解読の手掛かりとなった。また、イランのペルセポリス北方の **B** で発見された碑文の研究により、メソポタミアの古代文字が解読される扉が開かれた。こうして、古代オリエント世界の膨大な文字記録が、私たちの眼前に生き生きとよみがえり、当時の社会の出来事や思想宗教、科学技術などをはじめ多くのことを私たちは知ることができるようになった。

設問1 **A** に入る語は何か。解答は、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問2 **A** の表面には3種類の文字が記されていた。次のア～エにあげる文字で記されていないものはどれか。該当するものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 楔形文字      イ 民用文字（民衆文字）      ウ ギリシア文字      エ 神聖文字（聖刻文字）

設問3 **A** には、古代エジプトのある王に関する碑文が書かれていたが、その王はどの王朝の王であるか。ア～エのなかから該当するものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 古王国第4王朝      イ 中王国第12王朝      ウ 新王国第18王朝      エ プトレマイオス王朝

設問4 **B** に入る地名はどこか。解答は、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問5 **B** で発見された碑文を研究して、解読に成功した人物は誰か。ア～エのなかから該当するものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ローリンソン      イ グローテフェント      ウ シュリーマン      エ シャンポリオン

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問1～4に答えなさい。

地中海世界においては古くから教育や研究の場が設けられた。プラトンがアテネの郊外に創設した **A** , **B** がアテネに設置したリュケイオン, ヘレニズム時代のアレクサンドリアに開設された大研究機関ムセイオンはその代表的なものである。

一方、文化的にはローマ＝カトリック教会の権威が絶大であった中世の西欧では、大聖堂や修道院の付属学校が各地に開かれ、12世紀ころからはいくつかの都市に大学がうまれた。

設問1 空欄Aにあてはまる学園名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問2 空欄Bの人物は、「万学の祖」とも呼ばれたが、その人名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 下線部Cに関係する下記の文のうちで誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア この時代にはコイナーと呼ばれるギリシア語が共通語となった。
- イ アレクサンドリアはアンティゴノス朝の都となった。
- ウ 艇の原理を発見した数学・物理学者のアルキメデスはムセイオンで学んだ。
- エ 地球を球形と考え、その周囲の長さを計算したエラトステネスはムセイオンの館長を務めた。

設問4 下線部Dに関し、下記の大学のなかから医学で有名な大学を一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア パリ大学
- イ オクスフォード大学
- ウ サレルノ大学
- エ ボローニャ大学

〔Ⅲ〕 以下の文章を読み、設問1～4に答えなさい。

アラビア語の読み書きや算数を習い、コーランの暗唱を終えたムスリムの子弟は、次の高等教育の課程に進むと、モスクやマドラサ（学院）で専門の先生に師事してイスラーム諸学の習得に努めた。イスラーム諸学は、法学・神学・伝承学・歴史学などの「アラブの学問」と哲学・医学・数学・地理学などの「外来の学問」に分類され、その研究成果は新しく登場した紙に記されてイスラーム世界に広く伝達された。しかも商売の旅、メッカ巡礼の旅、師を求める学問の旅などを通じて、もの・思想・技術などがすばやく遠隔の地へ伝えられたことが、イスラーム文明の高度な発展を促したのである。

設問1 下線部Aのマドラサはセルジューク朝時代に各地の都市に建設されたが、それらの学院は建設を指導した人物の名にちなんで何と呼ばれたか。解答は、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問2 下線部Dに関連する製紙法が伝えられる契機となったアッバース朝軍と唐軍との戦いは何と呼ばれているか。解答は、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 下線部Eに関連して、14世紀の北アフリカやイベリア半島を旅した後、『歴史序説』（『世界史序説』）を著して、王朝興亡の歴史に法則性があることを論じたアラブの歴史家は誰か。解答は、記述解答用紙の所定欄にカタカナで記しなさい。

設問4 下線部B、Cに関連するB、Cの文章を読み、それぞれア～エのなかから該当するものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

B 「アラブの学問」に関する次の文章のうち、正しいものはどれか。

- ア イスラーム法は、神の啓示であるコーランを第一の基礎として体系化された。
- イ イスラームの哲学や神学は、10世紀頃から、神秘主義思想を排除するようになった。
- ウ 学問活動の成果は、はじめからアラビア語やペルシア語やトルコ語によって著された。
- エ 法学や神学の補助手段として、ムハンマドやカリフの言行を伝える伝承が集められた。

C 「外来の学問」に関する次の文章のうち、誤りを含むものはどれか。

- ア アッバース朝時代には、「知恵の館」を中心にギリシア語文献のアラビア語への翻訳が組織的に行われた。
- イ インドから数字と十進法とゼロの概念を学んだことが、イスラーム世界における数学の飛躍的な発展をもたらした。
- ウ ムスリムの思想家たちは、ギリシア哲学、とくにプラトンの哲学をもっとも熱心に研究した。
- エ 医学・数学・幾何学・天文学などの研究成果は、イベリア半島のトレドを中心にラテン語に翻訳され、ヨーロッパにおける近代科学の誕生を促した。

〔IV〕 以下の文章を読んで、設問1～5に答えなさい。

科挙の「科」とはもともと試験科目の意味で、元来の科挙は、秀才・明経・進士など種々の科目に分かれていた。しかし、宋代には、皇帝が自ら主宰する **A** が導入されるなど、制度がより精密化する一方で、科目は事実上、進士科に一本化された。科挙が原則として受験資格に身分による制限を設けず、人々に社会的上昇の機会を与えたことは、体制の安定に寄与したといわれる。また、歴代王朝が試験の題材となる古典の解釈について南宋の **B** の学説を基準としたことは、学問・教育の潮流に決定的な影響を与えた。ただし、科挙合格をめざす学問とは一線を画し、独自の立場からあらたな学説を唱える者もいた。明代の **C** 王守仁（王陽明）や李贄（李卓吾）はその典型である。在野の学者が私的な学校を開き、自説を教授することもあった。こうした学校は書院と呼ばれ、しばしば政治サロンの性格を帯びた。たとえば、明末に南直隸（江蘇省）無錫の **D** 書院に集った知識人たちは、ときの政府を批判し、いわゆる党争を引き起こした。

科挙制度は、朝鮮やベトナムなど中国に隣接する地域にも広がった。ベトナムでは、すでに11世紀の李朝の時代に科挙が導入されていたが、**E** 明による直接支配が終わった後に制度がさらに整備され、頻繁に実施されるようになった。

一千年以上にわたって命脈を保った科挙も、19世紀以降に清朝が対外的危機にさらされ、また西洋の思想や技術が大量に流入すると、古典の知識と作文技術のみを問う科挙は時代遅れであるとの批判が高まり、**F** ついに廃止された。

設問1 空欄Aに当てはまる語句を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問2 空欄Bに当てはまる人名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 下線部Cの思想の特徴を表す記述として最も適切なものを次のア～エから選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 万物の変化は天の意志であり、人が天意に反すると天は異変や災害を起こして警告・懲罰する。
- イ 外界の事物のもつ理をきわめることで、人ははじめて正しい知に到達できる。
- ウ 人は生まれながらにして「良知」をそなえており、学問の目的はそれを正しく發揮することにある。
- エ 学問は現実の政治に応用できてこそ意義があり、その基礎は着実な実証である。

設問4 空欄Dに当てはまる漢字2字を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問5 下線部Eの原因に関する記述として最も適切なものを次のア～エから選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 洪武帝が、冊封を受けることを拒んだ陳朝をとがめて出兵した。
- イ 永楽帝が、陳朝の王位を黎季犛（胡季犛）らが篡奪したことをとがめて出兵した。
- ウ 土木の変にともなう明の混乱に乗じて、黎朝が雲南・広西に侵入したことがきっかけとなった。
- エ 明は、西山党の反乱で危機に陥った黎朝を救援することを名目として出兵した。

設問6 下線部Fと時期的に最も近い出来事を次のア～エから選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 総理各国事務衙門の設立
- イ キリスト教布教の公認
- ウ 『新青年』の発刊
- エ 憲法大綱の発表

[V] 以下の文章を読んで、設問1～5に答えなさい。

オランダの植民地であったインドネシアでは、オランダによってインドネシアに設立された高等教育機関で教育を受けた人びとの間に民族的自覚が生まれ、そのなかから民族的な組織を結成する人々が現われた。その後1927年に結成されたインドネシア国民党においても、これらの教育機関の卒業生やオランダから帰国した留学生が重要な役割を担った。  
スペインの植民地であったフィリピンでは、マニラで学んだのちスペインに留学し、19世紀末にマニラでフィリピン民族同盟を結成した **C** がフィリピン人の民族的帰属意識の形成に重要な役割をはたした。フィリピンが独立したのは **D** 年である。フランスの植民地であったベトナムでは、フランスからの独立などをめざす組織である維新会が独立運動の人材を育てるために日本に留学生を送った。

これらの事例から、東南アジアにおいて、近代的な学校教育を受け学問をおさめた人びとが植民地からの脱却に重要な存在であったことが知られる。

設問1 下線部Aについて、オランダが香料諸島からイギリスを排除しオランダ領東インドの支配を進めるのに重要な契機となった事件の名前を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問2 下線部Bについて、結成されたときのインドネシア国民党党首の名前を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 空欄Cにあてはまる人名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問4 空欄Dにあてはまる数字を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問5 下線部Eについて、ベトナムのフランスからの独立に関連する下記の文のうち、正しい内容の文章を一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ベトナム独立同盟は、日本の敗戦後にフランスと戦うために作られた組織である。
- イ ゴ=ディン=ジエムはフランスの後援でベトナム国の大統領になった。
- ウ インドシナ戦争は、ベトナム民主共和国とベトナム共和国の間で戦われた戦争である。
- エ ベトナム民主共和国は1945年に成立し、1976年に南ベトナムを統合した国家を成立させた。

〔VI〕 以下の文章を読み、設問1～6に答えなさい。

ヨーロッパにおいて、19世紀は「歴史学の世紀」と呼ばれることがある。人文系の学問の中で歴史学が興隆し、人々の思考に大きな影響を与えるようになったからである。いくつかの潮流が合わさって、歴史学あるいは歴史的思考の台頭をもたらされたのだが、そのような潮流の一つに啓蒙主義がある。たとえば、『哲学書簡（イギリス通信）』を著した **A** は歴史書も書いているが、啓蒙思想家たちは救済へと向かって進むキリスト教の歴史観を脱キリスト教化させて、より良き未来に向かう人間の歴史の流れに対する関心を呼び起こしたのであった。また、歴史学興隆の中心地となったドイツの場合には、「歴史哲学」を講義した哲学者 **B** の影響も大きい。彼にとって、真理は歴史の流れの中で把握されるべきものだったのである。

さらに、1789年から1815年までという短い期間に目まぐるしい変化が生じたことも、歴史の流れに対する人々の関心を呼び覚ますうえで大きな役割を果たした。バスチーユ襲撃からナポレオンの帝政に至るフランス革命のプロセスは、一種の「歴史の教訓」として受けとめられた。保守主義に立つ人々は革命のプロセスの全体を拒否したし、自由主義派の人々は革命のプロセスを途中まで受け入れて、たとえば **C** が制定した1791年憲法を歓迎し、民主主義派の人々は **D** 年に制定されたいわゆるジャコバン憲法を支持した。

そのように、歴史あるいは歴史解釈に、政治的な主張の根拠が求められるようになったのである。その代表的な例がマルクスやエンゲルスであり、彼らは生産力と生産関係との間の矛盾に着目した **E** に基づいて社会主義体制への移行が歴史法則的に必然であることを説いたのであった。しかし、「歴史の法則」を自らの政治的な主張の根拠としたのは、けっしてマルクスやエンゲルスだけではなかった。**F** で開催されたドイツ国民議会によるドイツ統一の試みが失敗した後、トライチュケのようないわゆるプロイセン学派の歴史家は、プロイセンを中心としたドイツ統一が「歴史の法則」に基づく必然であることを歴史の研究をとおして示そうとした。このように、歴史は現在を解釈し、未来への方向性を予測するための鍵と考えられるようになったのであった。

設問1 空欄Aに入る適切な人名を選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ヴォルテール      イ ルソー      ウ グランバール      エ デイドロ

設問2 空欄Bに入る適切な人名を選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア カント      イ フィヒテ      ウ ヘーゲル      エ シュレーゲル

設問3 空欄Cに入る適切な語句を選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 国民公会      イ 立法議会      ウ 国民議会      エ 三部会

設問4 空欄Dに入る適切な数字を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問5 空欄Eに入る彼らの歴史観を表す適切な語句を、記述解答用紙の所定欄に漢字で記しなさい。

設問6 空欄Fに入る適切な都市を選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ベルリン      イ ウィーン      ウ ミュンヘン      エ フランクフルト

〔Ⅶ〕 以下の文章を読み、設問1～6に答えなさい。

20世紀を代表する思想の一つである実存哲学は、**A**を先駆けとし、合理主義や実証主義への批判として生まれたものであるが、とりわけ西欧文明への信頼を揺るがした二度の世界大戦を経て広まった。

一方アメリカでは、プラグマティズムがさまざまな分野に影響を与え、教育学者としても知られる**B**は『民主主義と教育』を著した。

20世紀には科学技術のめざましい進歩が見られたが、それが人類にもたらしたものはかならずしも恩恵ばかりではない。原子物理学の発達は核兵器の開発につながり、第二次世界大戦末期には広島と長崎に原子爆弾が投下された。しかし大戦後も核兵器開発競争はエスカレートする一方であったため、この状況に危機感をもったバートランド＝ラッセルとアインシュタインが主導した宣言を契機に、1957年以降著名な科学者による**D**会議が開催されている。

また、二度の世界大戦の経験をふまえ、教育、科学、文化の振興などを通じて世界に平和をもたらすことを目的に、**E**国際連合の専門機関としてユネスコが設立された。よく知られたユネスコの活動の一つに世界遺産の選定・保全があるが、**F**アメリカの水爆実験により1954年に日本の漁船が被曝し、死傷者が出たビキニ環礁が世界遺産に登録されたことは、ユネスコの理念を表す出来事であった。

設問1 **A**に入る適切な人名を選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ハーバート＝スペンサー      イ サルトル      ウ キェルケゴール      エ コント

設問2 **B**に入る適切な人名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 下線部Cに関連して、1968年に核拡散防止条約が締結されたが、その時核兵器の保有を認められた国を1つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア インド      イ 西ドイツ      ウ 中国      エ パキスタン

設問4 **D**に入る適切な地名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問5 下線部Eに関連して、誤りを含むものを1つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 第二次世界大戦が終結する前年のダンバートン＝オクス会議で、国際連合憲章の草案がつけられた。
- イ ユネスコのはかに国際連合の専門機関として、国際労働機関、世界保健機関、世界貿易機関などがある。
- ウ 国際連合設立時、安全保障理事会で拒否権をもつ常任理事国は、アメリカ、ソ連、イギリス、フランス、中国の5カ国であった。
- エ 国際連合の活動の一つに平和維持活動（PKO）があるが、紛争地域へのPKOの派遣は、冷戦終結後に目立って増加した。

設問6 下線部Fに関連して、ポーランドにあるナチス＝ドイツの強制収容所跡が同じく世界遺産に登録されているが、その名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔Ⅷ〕 次の文章を読み、図版を見て、設問1～5に答えなさい。

「再生」を意味するルネサンスの運動はイタリアを中心に誕生し、15、16世紀の間に西ヨーロッパ各地に広がり、豊かに変容していく。美術の世界ではイタリアの場合、特にメディチ家を擁するフィレンツェを舞台に、建築ではサンタ＝マリア大聖堂の大円蓋を完成させた **A**，彫刻ではドナテルロ，絵画では平面に三次元世界を再現する技法である **B** を確立したマザッチョ等が輩出してイタリア＝ルネサンスの地歩を築くことになった。

しかしフィレンツェを舞台にしたこの運動は、15世紀の末、大きな転機を迎える。1492年にはロレンツォ＝デ＝メディチが世を去り、この都市で成長したレオナルド＝ダ＝ヴィンチ、ラファエロ、ミケランジェロというルネサンスを代表する三巨匠は活躍の場を他に求め、芸術の中心はミラノやヴェネツィア、そして教皇庁のあるローマに拡散していった。この頃教皇に就任したユリウス2世は、その名のとおおり、古代ローマの英雄ユリウス＝カエサル（シーザー）を理想として、古代の美術品を収集し、美術家を招いて宮殿や礼拝堂を豪華に飾り、新しいローマ帝国を築こうとした。ラファエロに命じて **D** 宮殿の「署名の間」に描かせた大壁画「**E**」（図版参照）は教皇の事業の一環であった。時代や場所を異にする古代の哲学者や科学者が一堂に集った空想的な場面である。この記念碑的な作品は、古代の学問の世界を模範としたルネサンス人の理想郷を描いていると言えるだろう。

設問1 **A** に入る建築家の名前を下記のア～エから選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ブラマンテ      イ ジョット      ウ ブルネレスキ      エ デューラー

設問2 ルネサンスにおいて確立された絵画技法である **B** に入る語を、記述解答用紙の所定欄に漢字で記しなさい。

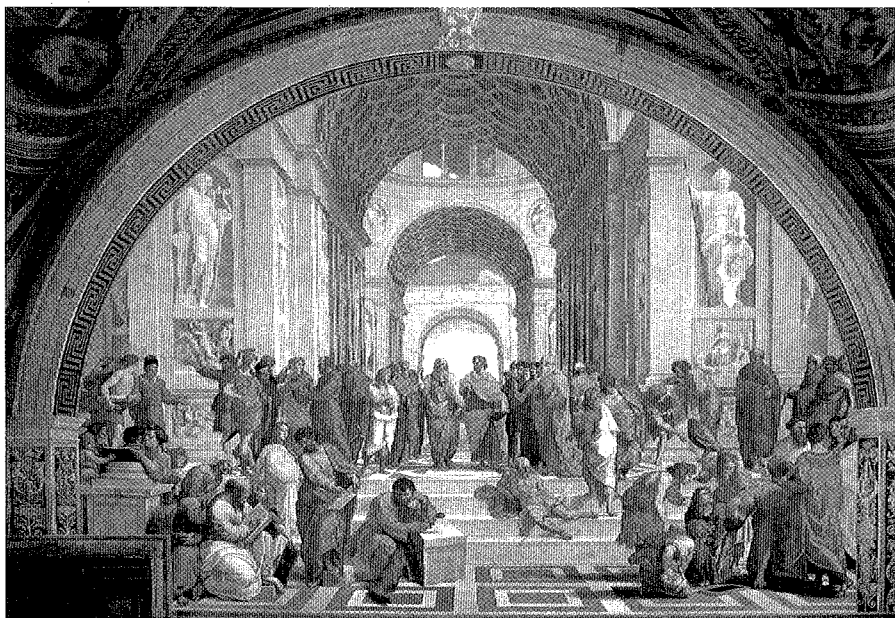
設問3 下線部Cの画家が描いた作品を下記のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 「最後の晩餐」      イ 「ヘントの祭壇画」      ウ 「ダヴィデ」      エ 「ヴィーナスの誕生」

設問4 **D** に入る語を、記述解答用紙の所定欄にカタカナで記しなさい。

設問5 **E** に入る語を、下記のア～エから選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア プラトンの饗宴      イ ニケーア公会議      ウ アテネの学堂      エ 聖体の論議



ラファエロ作 「署名の間」壁画 1509-10年

〔以下余白〕

世界史 (記述解答用紙)

受験 番号	万	千	百	十	一
氏 名					

(注意) 所定の欄以外に番号・氏名を書いてはならない。

受験 番号	万	千	百	十	一
氏 名					

(注意) 所定の欄以外に番号・氏名を書いてはならない。

〔I〕

1	
4	

〔II〕

1	
2	

〔III〕

1	
2	
3	

〔IV〕

1	
2	
4	

〔V〕

1	
2	
3	
4	

〔VI〕

4	
5	

〔VII〕

2	
4	
6	

〔VIII〕

2	
4	

I

--

II

--

III

--

IV

--

V

--

VI

--

VII

--

VIII

--